PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

02-302668

(43)Date of publication of application: 14.12.1990

(51)Int.CI.

GD1N 33/543

(21)Application number: 01-123439

(71)Applicant: SUZUKI MOTOR CORP

DAINABOTSUTO KK

(22)Date of filing:

17.05.1989

(72)Inventor: YOKO

YOKOMORI YASUHIKO

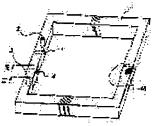
SUDA HIDEO KURATA KUNIO KUBO YOSHINOBU MATSUOKA YOSHIHARU

(54) ATTACHMENT FOR MICROPLATE

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily mount an attachment to a microplate of any company in a freely detachable manner to make the same usable by providing at least two spring contacts so as to be capable of protruding toward or receding from a plate contact surface.

CONSTITUTION: Each of spring contacts 4 has the screw hole 4A provided to a frame body 1 so as to pierce the same from the outer peripheral surface 1a thereof toward the inner peripheral surface 1b thereof and the adjusting screw 4B threaded with the screw hole 4A. A contact head 4a for pressing the side end surface of a microplate and the leading end cover 4b mounted around the contact head 4a are provided to the leading end part of the adjusting screw 4B. The contact head 4a and the leading end cover 4b are formed into a size so that the peripheries thereof are received in the screw hole 4A. Further, an adjusting hexagonal head 4E is provided to the head of the adjusting screw 4B in a recessed state along the center axis thereof and a compression spring 4C is received in the screw 4B and the contact head 4a is pressed to the microplate by the proper pressing force due to said spring 4C.





LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C): 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

庁内整理番号

(11)特許番号

第2727015号

(45)発行日 平成10年(1998) 3月11日

(24)登録日 平成9年(1997)12月12日

(51) Int.Cl.8

識別記号

FΙ

技術表示箇所

G01N 33/543

581

G01N 33/543

581Z

請求項の数1(全 3 頁)

(21)出顧番号

特願平1-123439

(22)出顧日

平成1年(1989)5月17日

(65)公開番号

特開平2-302668

(43)公開日

平成2年(1990)12月14日

(73)特許権者 999999999

スズキ株式会社

静岡県浜松市高塚町300番地

(73)特許権者 999999999

ダイナポット株式会社

東京都港区六本木1-9-9 六本木フ

ァーストピル

(72)発明者 横森 保彦

静岡県浜松市佐鳴台2-17-20

(72)発明者 須田 英雄

静岡県浜名郡可美村増楽1359-1

倉田 邦夫 (72)発明者

千葉県松戸市常磐平双葉町9-1

(74)代理人 弁理士 髙橋 勇

> 審査官 亀田 宏之

> > 最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 マイクロプレート用アタッチメント

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】凝集判定装置の本体ケースに対応して形成 された四角形状の枠体と、この枠体の少なくとも二箇所 に形成された本体ケース係合用のノックピン穴とを有

前記枠体の一部に、内側に向って僅かに突設されたプレ ート当り面を設けるとともに、

とのプレート当り面に対向する側の枠体部分に、前記プ レート当り面に向って突出若しくは後退可能に構成され た少なくとも二つのスプリングコンタクトを装備したと 10 め、他メーカのマイクロブレート用アタッチメントは使 とを特徴とするマイクロブレート用アタッチメント。

【発明の詳細な説明】

〔産業上の利用分野〕

本発明は、マイクロブレート用アタッチメントに係 り、とくに、臨床検査における粒子凝集パターンの判定

装置に使用されているマイクロプレート用として好適な マイクロプレート用アタッチメントに関する。

〔従来の技術〕

臨床検査における粒子凝集パターンの判定装置として は、従来より種々のものが公表されている。

[発明が解決しようとする課題]

これら各判定装置は、会社毎にシステム及び取扱が幾 分異っていることから、多くは、専用のマイクロブレー トと専用のアタッチメントが使用されている。とのた 用することができないという不都合が生じている。

一方、共同研究等においては、種々の試験設備が持ち 寄せられることから、異ったメーカの判定装置を同一条 件のもとに稼働させるため、各装置とも他メーカのアタ ッチメントを使用しなければならないという事態が生じ

る。

〔発明の目的〕

本発明の目的は、かかる従来例の有する不都合を改善 し、とくに、いづれの会社のマイクロブレートであって も極く容易に着脱自在に装備し使用することのできる凝 集判定装置用のマイクロプレート用アタッチメントを提 供することにある。

3

〔課題を解決するための手段〕

本発明では、凝集判定装置の本体ケースに対応して形 所に形成された本体ケース係合用のノックピン穴と有し ている。そして、枠体の一部には、内側に向って僅かに 突設されたプレート当り面を設けられている。このプレ ート当り面に対向する側の枠体部分に、プレート当り面 に向って突出若しくは後退可能に構成された少なくとも こつのスプリングコンタクトを装備する、という構成を 採っている。これによって前述した目的を達成しようと するものである。

「発明の実施例)

以下、本発明の第1実施例を第1図ないし第6図に基 20 は前述した第1実施例と同一となっている。 づいて説明する。

との第1図ないし第6図に示す実施例は、凝集判定装 置の本体ケースに対応して形成された四角形状の枠体1 と、この枠体1の少なくとも二箇所に形成さえた本体ケ ース係合用のノックピン穴2,3とを有している。枠体1 の一部には、内側に向って僅かに突設されたプレート当 り面1Aを設けるとともに、このプレート当り面1Aに対向 する側の枠体部分に、プレート当り面1Aに向って突出若 しくは後退可能に少なくとも二つのスプリングコンタク ト4,4が装備されている。

第1図に示すノックピン穴2,3内には、第2図に示す ように内側にテフロンシコート10が付されたブッシュ11 が (第3図参照) が圧入されている。これにより、図示 しない凝集判定装置の本体ケースに予め設けられている ノックピンに対し円滑に挿脱が可能となっている。

また、第1図に示すスプリングコンタクト4は、第4 図ないし第6図に示すように、枠体1の外周面1aから内 周面1bに向って貫通して設けられたねじ穴4Aと、このね じ穴4Aに螺合される調整ねじ4Bとを備えた構成となって いる。との内、調整ねじ48の先端部には、マイクロプレ 40 ートの側端面を押圧するための当り頭部4aと、この当り 頭部4aの周囲に装備された先端カバー4bとが装備されて いる。この当り頭部4aと先端カバー4bとは、いずれにそ の周囲の大きさがねじ穴4A内に納まる程度の大きさに形 成されている。また、調整ねじ48の頭部には、中心軸に 沿って凹状に調整用六角頭4Eが設けられている。

さらに、この調整ねじ4B内には圧縮ばね4Cが収納さ れ、これによって当り頭部4aが図示しないマイクロブレ ートに向けて適度の押圧力が常時印加されるようになっ ている。

とのため、との第1実施例に係るマイクロプレート用 アタッチメント1を使用すると、例えば大きさの少し異 るマイクロプレートと対しては、上述したスプリングコ ンタクト4.5を調整することにより極く容易に対応する ととができる。また、大きさが著しく異るマイクロプレ ートに対しては、ノックピン穴を共通とした大きさの異 なるマイクロプレートを予め複数個用意することによ り、これに充分に対応することができる。

従って、従来技術にあっては凝集パターンの認識のた 成された四角形状の枠体と、この枠体の少なくとも二箇 10 めの判定装置に合ったマイクロブレートを使用しなけれ ばならないという事態が生じていたのに対し、この第1 実施例のアタッチメントを使用することにより、多くの 異ったマイクロプレートに対し、いづれか一つの判定装 置にて充分適合させることができるという利点がある。 〔第2実施例〕

次に、第2実施例を第7図に基づいて説明する。

この第7図に示す第2実施例は、ブレート当り面1Aと スプリングコンタクト4,4とを枠体10の対向する二組の 内面に各々設けた点に特徴を有している。その他の構成

このため、この第2実施例においては、周囲全体が小 さく形成されたマイクロプレートに対しても充分使用す ることができるという利点がある。

〔第3実施例〕

次に、第3実施例を第8図に基づいて説明する。

との第8図に示す第3実施例は、枠体1にプレート当 り面1Aとスプリングコンタクト4.4とを一組設けるとと も、これに直交する方向の枠体11部分には、その上端部 中央にマイクロブレート挿脱用の切り欠き部20,20を設 けた点に特徴を有している。この場合、ノックピン穴2, 3は、一方の切り欠き部20の両側に設けられている。そ の他の構成は前述した第1実施例と同一となっている。

このようにしても、前述した第1実施例と同様の作用 効果を有するほか、マイクロブレートの挿脱が容易とな り、これがため各種の粒子凝集パターンの判定をより迅 速に行うことができるという利点がある。

[発明の効果]

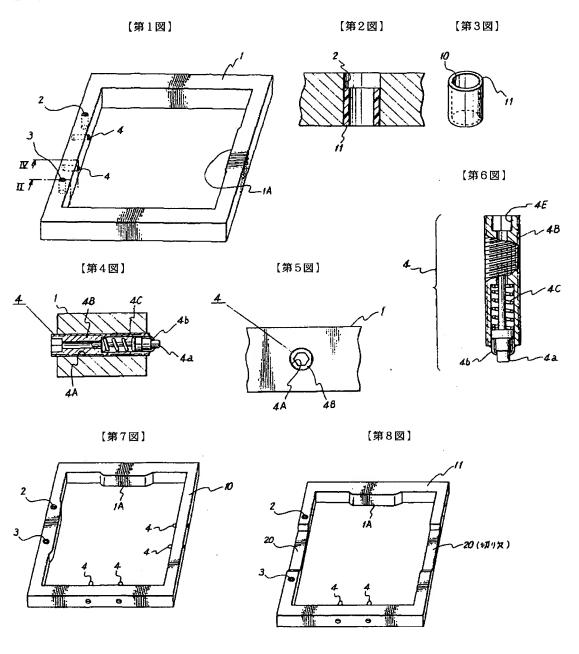
以上のように、本発明によると、これを使用すること により、多くの異なったマイクロプレートに対しても一 つの判定装置で充分対応することが可能となり、判定装 置の本体ケースに対する挿脱が容易になり、これがた め、各種の粒子凝集パターンの判定をより迅速に行うと とができるという臨床検査における粒子凝集パターンの 判定装置用として好適な従来にない優れたマイクロプレ ート用アタッチメントを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

第1図は本発明の一実施例を示す斜視図、第2図は第1 図中のノックピン穴部分を示す部分断面図、第3図は第 2図中の圧入ブッシュの一例を示す斜視図、第4図は第 50 1 図中のスプリングコンタクト部分を示す説明図、第5

図は第4図の左側面図、第6図は第4図のスプリングコ *1,10,11……枠体、2,3……ノックピン穴、4……スプリ ンタクトを示す詳細説明図、第7図は第2実施例を示す 斜視図、第8図は第3実施例を示す斜視図である。

ングコンタクト。



フロントページの続き

(72)発明者 久保 恵宣 千葉県松戸市稔台945—2 (72)発明者 松岡 義晴 千葉県鎌ケ谷市中沢1510-55